

◆創立60周年を迎えて

大成ロテックが15日に創立60周年を迎える。西田義則社長は困難に負けず立ち向かう「進一層」の精神で次の10年を見据え、一層の飛躍を誓う。持続的な成長に向け本業の強化や新規事業での収益確保、技術開発などに注力。生産性向上や働き方改革も加速し、社員と共に働きがいと夢のある会社の実現を目指す。

◇

——創立60周年を迎える。「まずは当社の成長に貢献いただいた多くの方に感謝を申し上げたい。新型コロナウイルスの感染拡大、脱炭素化やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、時代の潮流が変わりつつある

大成ロテック社長

西田 義則氏



この人に聞く

「進一層」の精神で飛躍を

状況で60周年を迎える。創業から大倉喜八郎が生きた幕末から明治の時代と同じ激変の時代は、チャンスもあると捉えている。常に前進の姿勢を貫き、持続的な発展を通じ名

状態などで力を注ぎ、夢を持つ者に発電所を建設する。全国展開を図りたい。海外事業も成長分野の一つだ。ベトナムは再生合材製造販売事業の早期開始を目指す。中国では既存子会社の体制を見直し、特殊

「生産性向上と働き方改革の推進を目指す上でDXは不可欠だ。DX推進室を設置し本格的に検討する。事業部門ではICT（情報通信技術）を活用した舗装技術などに取り組む。業務部門では社内業務を整理、見直しデジタル技術で革新を起こしたい」。

実ともに業界ナンバーワンを目指す」

——60周年の節目に3カ年の新中期経営計画をスタートした。

「会社の成長を支えるのは人であり、人材確保と育成を最重点事項に掲げた。働き方改革では土日閉所の表現や長時間労働の削減、働き方の多

「本業の周辺事業として建築事業の拡大、電線共同溝PFIや道路コンセッションへの参画を検討していく。再生可能エネルギー分野にも注目している。中小水力発電事業の初弾として新潟県新発田市

「新しい舗装技術の開発を目的に第2研究試験施設の建設を予定している。一層の飛躍を目指し夢のある技術を開発したい。キーワードの一つは環境。植物中のリグニンと石油アスファルトを使ったグリーン舗装の実用化や、発電と電気自動車（EV）への給電が可能な舗装技術なども開発していく」

「相乗効果」をより発揮したい。地方官庁案件や小規模工事にも対応できるよう地域子会社を設立し、受注と合材出荷の拡大を目指す」

——今後の成長戦略は。

「本業の周辺事業として建築事業の拡大、電線共同溝PFIや道路コンセッションへの参画を検討していく。再生可能エネルギー分野にも注目している。中小水力発電事業の初弾として新潟県新発田市

「新しい舗装技術の開発を目的に第2研究試験施設の建設を予定している。一層の飛躍を目指し夢のある技術を開発したい。キーワードの一つは環境。植物中のリグニンと石油アスファルトを使ったグリーン舗装の実用化や、発電と電気自動車（EV）への給電が可能な舗装技術なども開発していく」